

事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：ブックセンターあずま（石丸喜代子）の事業譲渡
譲渡者：石丸喜代子（相談時81歳） 古本の買取・販売
譲受者：有限会社コウホウ（企業内独立希望者 鈴木志乃 相談時34歳）
譲渡方法：事業譲渡
引継ぎ期間：令和元年6月～令和元年12月19日（事業譲渡契約書調印）
支援方法：2次対応案件（譲渡側へマッチングコーディネーター紹介）

事業引継ぎまでの経緯

- ・ブックセンターあずまは、平成14年に石丸氏が前オーナーから店舗を引継ぎ17年間経営してきた。千葉県外房地域では、茂原市以南から館山市までの間に古本買取店は当店のみしか存在しない。
- ・石丸氏も起業して永い歳月が経過し、81歳と云う年齢から体力的な限界を感じていた。子供は他の事業を営んでおり、親族への事業承継は断念。いすみ市商工会へ相談したところ千葉県事業引継ぎ支援センターを紹介され、お相手先探しをすることとなった。
- ・当センターでは、譲受候補者を4組リストアップし、現地店舗でトップ面談を実施した。その中で、本譲受者だけが、石丸氏の希望である店舗スタイルを守り運営を継続するとの方針だった為、M&Aの話が前に進んだ。（他3組はITを活用したビジネスモデルへ変更方針だった）
- ・当センターでは、この先はプロに入って貰うべきとアドバイスし、マッチングコーディネーターを紹介した。譲渡側とAD契約を結んだ事で千葉県事業承継助成金の対象になり費用の50%が助成された。
- ・令和元年12月19日いすみ市商工会にて事業譲渡契約を調印。いすみ市としても地域の高齢化、過疎化に歯止めが掛からない中で、若い人がブックセンターあずまを引継ぐことには大歓迎であった。
- ・譲受側の鈴木氏もインターネットでの中古本売買を始めるものの、従業員は雇用継続し、今迄のブックセンターのファンも大切に営業していく事を約束。両者の融合が図られたM&Aが成立した。

事業引継ぎ支援センターでの対応内容

- ①譲受希望者4組の紹介、マッチング実施。
- ②マッチングコーディネーターを紹介、AD契約締結。
- ③千葉県事業承継助成金の手続きアドバイス
- ④事業譲渡契約書調印式に立会い。

